【Bousai support】.shp ファイルをインポートする手順

Mail: <u>bousai@udri.net</u>

防災まちづくり支援システム β 版(以下、 β 版)において、.shp ファイルをインポートする際の手順を示したものです。

<注意>

マニュアル8ページを参照の上、正しいデータをご用意ください。

1、 【重要】インポート処理の前に

① アップデータプログラムの実行

「Geoconcept explorer Professional 5.0」環境化において、 β 版を使用した場合、インポートファイル選択の際に.shpファイル(*.shp)が表示されない不具合が生じます。解決するためのアップデータプログラムを配布しておりますので、Bousai support (bousai@udri.net)にご連絡ください。

② .shpファイルについて

作成されるファイルには、.shp ファイル以外にも、.dbf ファイルをはじめ複数のファイルがあります。これらすべてのファイルはインポート時に必要になります。ファイルの主な属性は以下の通りです

- 【. shp】図形の座標が保存されています。
- 【.dbf】属性の情報が保存されています。
- 【. shx】shp の図形と dbf の属性の対応関係が保存されています。

2、 インポートするファイルを選択

【ファイル】-【インポート】-【図形のインポート】をクリックし、インポート処理を開始 します。インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。

{)#`-}77{#		<u> ? ×</u>
ファイルの場所の	🔁 建物_shp 💽 🕈 🖽 -	
目前のよう		
ファイル名心	歸物.shp 開K(Q)	
ファイルの種類①:	ArcView shapefile (*.shp) ・ キャンセル]

図 1 インポートファイルの設定

3、 詳細な設定

- ここでは、インポートする際の詳細な設定を行います。
 - ① インポートオプション

[フィールドをインポートする] チェックボックスをオンにする。そのほか の機能はオフのままにする。(推奨)

Shapefile オブジェクトインホ*ート	:
_ インホ°−トオフ°ション	
□ テリミティッドテキストを作成する(C)	
参照(B)	
□ 倍率を使用する(型) 1	
▼ フィールドをインポートする①	
□ オフジェクトを作成しない(N)	
○ 新規りラス/サフジラス作成())	
建物-建物	
● 既存りラス/サフ りラス使用⊗	
(Any)	
OK キャンセル	

図 2 インポートオプション設定画面

- <各機能の詳細>
 - [デリミティッドテキストを作成する]チェックボックスをオンにすると、shp形式のファイルからGeoConceptテキスト形式(.gxt)でファイルが作成されます。[参照]ボタンで、ファイルを格納するフォルダを選択できます。
 - [倍率を使用する]チェックボックスをオンにすると、入力ゾーンがアクティブになり、[倍
 率を使用する]チェックボックスをオンにすると、入力ゾーンがアクティブになり、インポートするデータのスケールを編集できます。
 - [フィールドをインポートする]チェックボックスをオンにすると、インポートファイルの地図
 データに関連付けられている属性データがインポートされます。
 - [オブジェクトを作成しない]チェックボックスは、マップ上にすでに存在するすでに存在するオブジェクトのフィールドを更新する場合に使用します。
 - ② インポートオブジェクト クラス/サブクラス設定
 既存クラス/サブクラス使用を選択し、インポートするデータ名をリストボックスから選択します。建物データの場合は<Area_1ー建物>を選択してください。この場合、Area_1 がクラス、建物がサブクラスとなります。設定が完

了したら、【OK】を押し、インポート処理を開始します。



図 3 クラスの設定

aperile x 7191x9P1	24 - P	2
128~517512		
□ 79:5491/54218	2作成する(2)	
	参照(2)	
□ 倍率を使用する	U I	
▶ フィールを心ボー	けるの	
□ わジェ外を作成	Ltal VINO	
○ 新規55ス/サフラ5	2/作成例/ 運物 - 建物	
 新規55x/9735 () 既得55x/9735 	2作成例	1
 ○ 新規ウラス/リブウラ ○ 既得ウラス/リブウラ 	(2/作成 ⁽¹⁾⁾ 運物 - 建物 (2.使用 ⁽²⁾ Area 1 - 建物	1
○ 新規>>ス/サフ>>> ○ 新規>>ス/サフ>>>	以作成₩) 建物 - 建物 以使用QS Area_1 - 建物 ● 出火点	
○ 新規55x/9775 ○ 既存55x/9775	以作成₩/ 建物 - 建物 (ス使用Q) Area_1 - 建物 ● 出火点 ● ① pline	
○ 新規55x/9735 ○ 就得55x/9735	(2作成例) 連物 - 建物 (2使用O) Area_1 - 建物 ・ 出火点 ・ 出火点 ・ 日本	
○ 新規55x/9795 ○ 就得55x/9795	(2作成例) 運物 - 建物 (2使用O) Area_1 - 建物 - 出火点 - (1) pline - (1)	
○ 新規>>>、>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	(2作成例) 連物 - 建物 2.使用 S Area_1 - 建物 - 出火点 - いりpline - ご該為_node - ご該為_作員 - 読為火水利装設	
○ 新規>>>、>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	(2作成例) 連物 - 建物 2.使用 S Area 1 - 建物 - 出火点 - ひ pline - び 通路 node - び 通路 作員 - 、 消路 中心線	

図 4 サブクラスの設定

3

<各機能の詳細>

- [新規クラス/サブクラス作成]オプションでは、インポートファイル名を使用して、新しい クラスとサブクラスが作成されます。

.shp ファイルインポートマニュアル

- [既存クラス/サブクラス使用]オプションでは、.shpファイルがGeoConceptマップにすで に存在するクラス/サブクラスに関連付けられます。

4、 インポート終了後の手順

インポート終了後は、【ファイル】-【インポート】-【データベース更新】でデータベース 更新処理を行う必要があります。

しかし、建物以外に、道路中心線や消防水利施設など複数インポートするデータがある場合は、3と4の処理を繰り返してください。

すべてのインポート処理が終了した後には、必ずデータベース更新を実行して下さい。

データベース更新中 オフジェ外数:4364		
	1%	

図 5 データベース更新処理画面

5、 データベース更新終了後

データベース更新終了後は防災まちづくり支援システムを再起動する必要がありますので、 【ファイル】-【終了】からプログラムを終了して、もう一度ウィンドウズの【スタート】 -【プログラム】-【防災まちづくりβ1.0】-【防災まちづくりβ】を実行してください。